



春が近づいておりますが、まだまだ寒い日が続いていますね。2月といえば節分を思い浮かべられる方も多いと思いますが、節分は年に4回あることをご存じでしょうか？節分とは季節の節目である「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日のことを言います。漢字の通り「季節の分け目」の日という意味です。その中でも春から1年が始まるとされていたため、「立春」の前日である「春の節分」が大切だとされ、冬から春にかわる節目が節分であるという認識が広まったそうです。節分と言えば豆まきや恵方巻ですよね。今年の恵方は「南南東」だそうです。皆様も願い事がかないますよう無理しないでお召し上がりください。



令和5年 2月号

〒813-0043
福岡市東区名島3丁目52番5号
TEL 092-673-1800
FAX 092-673-2626



デイサービスセンター名島



今年の冬は一段と寒さが身にしみますね。さて、新年を迎えたデイサービスでは、今年初の大きなレクリエーションとして皆様に手形をとって頂きました。毎年、新年の書初めをして頂いていましたが、今年は一風変わって手形を押して頂きました。

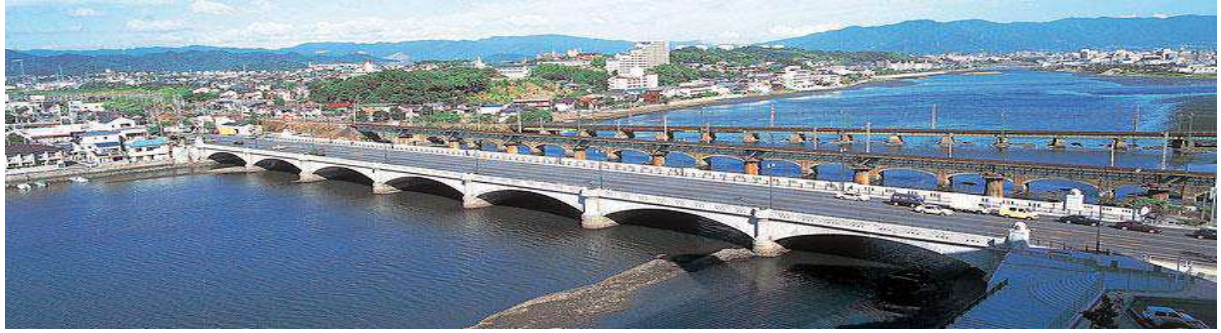
大人になると、手形をとる機会はなかなかないですね。皆様も戸惑われながら手に墨を塗り、真剣表情で色紙に手形を押されていました。

出来上がった手形と恥ずかしそうに写真を撮られる姿が印象的でした。デイサービスをご利用頂いた記念になればと思います。

今年も皆様が笑顔になれるよう職員一同、努めて参ります！

担当：満生

福岡のシンボル名島橋の紹介



名島橋諸元

全長	204.1m
全幅	24.0m
構造形式	鉄筋コンクリートアーチ橋
連数	7連
完成年月	昭和8年3月
設計者	後藤龍雄
総工費	416,883円(昭和8年当時)

福岡市東区の多々良川に穏やかにたたずむ名島橋。昭和8年に完成したこの橋は、北部九州地域と福岡都心部を結ぶ国道3号の道路橋として、産業・経済・文化の発展の大きな役割を果たしてきました。名島橋を往来する車は、1日に6万台。まさに福岡の東玄関を飾るシンボルです。おらかな7連のアーチを描き、白く輝く御影石の覆われ、力強い美しさを感じさせてくれる名島橋。その素材は腐食・圧縮率に強いコンクリートで、構造は耐震性に優れたアーチ式です。美しいデザインと、当時の架橋技術の粋に集めた、非常に進んだ橋といえます。また、全長204.1m、全幅24.0mと、架橋当時では破格ともいえる規模を誇っています。自動車時代の幕開け期に、なぜ現在でも通用する規模の橋が架けられたのか、そこにはさまざまな謎やロマンが秘められているようです。

12月と1月は橋の四隅に！？

12月はサンタクロースのコスプレ(@_@)

1月は鏡餅になります(*.*) ご存知でしたか？

名島橋が喜寿を迎えた2010年から始まっているそうです

担当:木村



ハッピーバレンタイン



皆様こんにちは…

まだまだ寒い日が続いていますが、お変わりなく過ごされていますでしょうか？

2月14日はバレンタインデーですね！

女性から男性へ想いを伝える日とされており世界でも

「恋人たちの日」などと言われ盛大に祝われる定番行事となっています。

チョコレート会社が「バレンタインデーには愛する人にチョコレートを贈って愛を伝えましょう」とアピールし、全国的に広がったのが1960年代の頃のように。その時ハートのチョコレートを発売したのが始まりのようです。

ちなみに海外では男性から女性にプレゼントを贈るスタイルが主流のようです。

今年は誰にどのようなチョコを贈りますか？

考えるだけでもワクワクしますね。

思い出に残る素敵なバレンタインデーになりますように♡

ショートステイ 樺島

